



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東
コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)柳川 修一
(役職名)取締役常務執行役員
問合せ先責任者 (役職名)管理本部長兼経営企画室長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(7663)8208
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,013	2.2	128	△30.5	142	△38.5	69	△43.6
2023年3月期第1四半期	6,861	7.4	184	2.8	232	12.6	123	△29.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 153百万円(△13.7%) 2023年3月期第1四半期 178百万円(△38.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	10.13	—
2023年3月期第1四半期	17.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,701	7,310	39.0
2023年3月期	18,553	7,295	39.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,287百万円 2023年3月期 7,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	10.8	516	18.1	483	△18.2	315	△25.6	45.86
通期	31,500	9.2	1,150	21.3	1,110	5.2	762	2.6	110.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	6,868,840株	2023年3月期	6,868,840株
2024年3月期1Q	335株	2023年3月期	335株
2024年3月期1Q	6,868,505株	2023年3月期1Q	6,868,505株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和に伴い、社会経済活動の正常化に向けた動きが進む中で、緩やかな回復基調となりました。個人消費も人流やインバウンド需要が回復してきており、徐々に持ち直しの動きが見られました。一方で、為替相場の円安進行や不安定な世界情勢の影響もあり、物価の高騰が続く中で消費者の節約志向が高まっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。世界経済は、ウクライナ危機の長期化による世界的な資源価格の高騰のほか、急速な円安進行による個人消費への影響が懸念されるなど不透明な事業環境が続くことが予想されております。

当社はこのような不透明な環境の中で、「真の生産性向上に貢献する高度専門商社への変革」を中長期基本方針に掲げ、新中長期計画の2年目として、引き続き「持続的な成長」と「改革」を実現するための戦略を進めてまいりました。しかしながら、海外事業、特に主要進出国である中国において急速な経済の失速を背景として売上、利益が伸び悩みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,013百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は128百万円（前年同四半期比30.5%減）、経常利益は142百万円（前年同四半期比38.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同四半期比43.6%減）となりました。

■ 切削工具事業

売上高は4,223百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は60百万円（前年同四半期比43.8%増）と増収増益となりました。

主な要因は、国際的な資源価格が低下傾向にあり原材料価格の高騰も一服し製造業の設備投資が回復基調の中、当社の直販部門で積極的な営業活動を推進したことによります。

■ 耐摩工具事業

売上高は669百万円（前年同四半期比7.0%増）、セグメント利益は48百万円（前年同四半期比85.9%増）と増収増益となりました。

主な要因は、アルミ缶等の生産需要が堅調に推移する中、主要販売先である製缶業界への取り組みにより、製缶メーカーの主要顧客向けへの販売が堅調に推移し、また、EV電池等の将来の大型投資を見据えた受注獲得活動も積極的に展開したことによります。

■ 海外事業

売上高は1,590百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益は18百万円（前年同四半期比78.2%減）と減収減益となりました。

主な要因は、世界的に物価上昇率が低下傾向にはあるものの高インフレが継続する状況下において、当社の進出国ではメキシコ及びインドなどの業績は堅調に推移し、一方で主要進出国である中国において急速な経済の失速を背景として、売上が低迷したことによります。

■ 光製品事業

売上高は346百万円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比64.2%減）と減収減益となりました。

主な要因は、世界的な半導体不足の影響下において、主要ビジネスである画像処理ビジネスの進展及び部材の安定確保に努めましたが、電機及び半導体業界の景気低迷を背景に受注が低迷したことによります。

■ eコマース事業

売上高は10百万円（前年同四半期比284.1%増）、セグメント損失は15百万円（前年同四半期は25百万円のセグメント損失）となりました。

主な要因は、取り扱い商品の充実、SNS等を利用した各種プロモーション、顧客ニーズに合わせたサイト改修、販売店と連携した拡販施策等、業績拡大に向けての基盤づくりを積極的に展開しましたが、現時点では基盤づくりのための投資フェーズでもあることから、低調に推移したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円増加し、15,187百万円となりました。これは主に、現金及び預金が219百万円、流動資産のその他が135百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が424百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて140百万円増加し、3,514百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他が149百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて147百万円増加し、18,701百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて225百万円増加し、8,738百万円となりました。これは主に、短期借入金が328百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が60百万円、1年内償還予定の社債が50百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて92百万円減少し、2,653百万円となりました。これは主に、長期借入金が138百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて132百万円増加し、11,391百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円増加し、7,310百万円となりました。これは、利益剰余金が67百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益による増加69百万円、剰余金の配当による減少137百万円）減少した一方、その他有価証券評価差額金が69百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2023年5月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,717	2,937
受取手形及び売掛金	5,217	4,793
電子記録債権	728	754
棚卸資産	6,073	6,119
その他	492	627
貸倒引当金	△49	△44
流動資産合計	15,180	15,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	277	271
土地	360	360
その他（純額）	315	328
有形固定資産合計	952	959
無形固定資産		
のれん	316	298
その他	138	143
無形固定資産合計	454	441
投資その他の資産		
その他	2,002	2,152
貸倒引当金	△36	△38
投資その他の資産合計	1,965	2,113
固定資産合計	3,373	3,514
資産合計	18,553	18,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,629	2,496
電子記録債務	1,733	1,873
短期借入金	2,326	2,655
1年内返済予定の長期借入金	1,004	943
1年内償還予定の社債	50	—
未払法人税等	59	74
賞与引当金	183	114
役員賞与引当金	35	8
その他	490	571
流動負債合計	8,512	8,738
固定負債		
長期借入金	1,833	1,694
役員退職慰労引当金	307	312
退職給付に係る負債	417	434
その他	186	210
固定負債合計	2,745	2,653
負債合計	11,258	11,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	350	350
資本剰余金	330	330
利益剰余金	6,319	6,251
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,999	6,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	144
為替換算調整勘定	199	211
その他の包括利益累計額合計	274	355
非支配株主持分	20	22
純資産合計	7,295	7,310
負債純資産合計	18,553	18,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,861	7,013
売上原価	5,414	5,534
売上総利益	1,447	1,479
販売費及び一般管理費	1,262	1,350
営業利益	184	128
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
為替差益	27	11
補助金収入	3	0
その他	24	15
営業外収益合計	58	30
営業外費用		
支払利息	7	12
その他	3	3
営業外費用合計	10	16
経常利益	232	142
特別損失		
減損損失	※1 25	※1 1
特別損失合計	25	1
税金等調整前四半期純利益	206	141
法人税、住民税及び事業税	37	49
法人税等調整額	47	19
法人税等合計	84	69
四半期純利益	121	72
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	123	69

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	121	72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	69
為替換算調整勘定	42	11
その他の包括利益合計	56	81
四半期包括利益	178	153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	150
非支配株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	25
大阪府中央区	事業用資産	工具、器具及び備品	0
—	—	—	25

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、当初予定していた収益を見込めなくなったため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	1

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、投資額の将来の回収が見込めないため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,968	625	1,659	433	2	6,688	172	6,861	—	6,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	6	5	—	1	20	13	33	△33	—
計	3,975	631	1,664	433	3	6,708	186	6,895	△33	6,861
セグメント利益 又は損失(△)	42	26	84	49	△25	176	△10	165	18	184

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額18百万円は、セグメント間取引消去4百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額14百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,223	669	1,590	346	10	6,840	173	7,013	—	7,013
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	3	5	—	3	20	31	51	△51	—
計	4,230	672	1,596	346	13	6,860	205	7,065	△51	7,013
セグメント利益 又は損失(△)	60	48	18	17	△15	129	△11	118	10	128

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去△7百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額17百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。